

## 4 授業のユニバーサルデザインについて

アドバイザー：青森第二養護学校 石川 環氏

### 集中が途切れる児童への対応

#### 【こんなことで悩んでいます】

- ・掲示物に目が行きがちで、集中が途切れてしまう子への対応はないか・・・。
- ・小・中のつながりとして共通した分かる支援はないかな・・・。

#### 【こんな対応はどうでしょうか】

石川先生より



##### ☆掲示する際の工夫例

- ・掲示物は後方へ。
- ・風でめくれないようにする。
- ・必要に応じてカーテン等を使って出したり隠したりする。
- ・大きさや台紙の色はそろえる。
- ・整然と並べる。

##### ☆授業での工夫例

- ・電子黒板や移動黒板等を活用して、必要な時に掲示する。
- ・刺激の少ない座席にする。
- ・黒板を2～4分割して板書する。
- ・「めあて」や「まとめ」、大事なところなどを板書する際、チョークの色を学校で統一することで子どもも安心できる。
- ・待ち時間を作らず、終わった後に何をやるのかを書いて示す。

### 話し手に注目が難しい子への対応

#### 【こんなことで悩んでいます】

- ・園は、装飾が多く、子どもたちはそれに目が行きがち・・・。話し手に注目できないことがしばしばあるけれど・・・

#### 【こんな対応はどうでしょうか】

石川先生より



- ☆課題を提示する際、注目できるような工夫もある。「チラ見せ」や「モザイク」、「あえて間違いを入れる」などをすることも効果的な場合がある。

## 誰にでも効果的な支援

### 【こんなことで悩んでいます】

- ・文字と一緒に絵も提示すると、「字だけあれば分かるよ!」と言う子がいる・・・。
- ・一日の流れを視覚的に示すことで、対象児以外の子どもたちが先々のことが気になり騒がしくなってしまう・・・。

### 【こんな対応はどうでしょうか】

石川先生より



☆ユニバーサルデザインは、学級経営が大事。安心できる学級がベースとなり、参加や主体的活動に繋がる。学級内でのよりよい人間関係が支援の前提となる。

## 整理整頓が苦手な生徒への対応

### 【こんなことで悩んでいます】

- ・配付物が保護者に届かない。机やかばんの中はいつもぐちゃぐちゃ・・・。
- ・机には、前の授業のものがでていて、机の上は散乱している・・・。

### 【こんな対応はどうでしょうか】

- 授業に必要なものだけ出すようにしてみる。
- 可能であれば袖机を準備して、その時間で使用したものはその時間内に整理するようにする。

石川先生より



- ☆週 1 回整理する時間を設ける。
- ☆提出物リストの表示をスマホのカメラ機能で撮影するなど。
- ☆学習ファイルを個人ごとのケースに入れる。

## その他の参考例

石川先生より



### ☆約束やルールの視覚的提示例

声のものさし、姿勢、鉛筆の持ち方、話し合いのルール（子どもたちで決めたルールで動く）など。

### ☆提示の出し方の例

①注目 ②今から○点話します。③質問は最後です。など